

No.	事業名称等	事業実施年度	評価実施年度	交付金種別
1	三浦半島魅力最大化プロジェクト推進事業	平成30年度	令和元年度	地方創生推進交付金
2	みうら・みさき海の駅“うらり”交流拠点整備事業	平成29年度	令和元年度	地方創生拠点整備交付金

1 事業計画概要	
<p>(1) 平成29年度～平成31年度に地方創生推進交付金を活用して三浦半島魅力最大化プロジェクト推進事業（三浦半島4市1町広域連携による事業）を行うもの。</p> <p>県では、市町との緊密な連携の下で、地域が一体となって、それぞれの事業に取り組む「三浦半島魅力最大化プロジェクト」を策定し、「観光」と「暮らし」に焦点を当て、「海」、「食」、「地域」、「働く」、「住む」の5つの魅力（＝政策目標）を最大化し、各政策を連携して機能させることによって、交流人口を増加させ、地域の賑わいをつくり、魅力的な地域とすることで、この地域で働き（仕事）、地域の中で生活する生きがいを創出し、定住人口を増加させ、人口減少に歯止めをかけることを目指している。</p> <p>本プロジェクトを推進するにあたり、三浦半島は、東京、横浜などの大都市に近い割には、海あり、山あり、歴史ありという他の地域にはない優位性を持っている。こうした優位性を地域内外に上手く訴求できれば、人口減少、高齢化、地場産業の衰退という事象に対してテコ入れが図れるのではないかと、それぞれが展開している対策（空家対策、子育て支援、企業誘致等）の地域間連携、事業継続性には疑問がある。</p>	<p>そこで、三浦半島の優位性を半島全体のイメージとして、プロモーションし、かつ、県・市町の様々な施策を訴求対象別の施策としてまとめあげ、事業効果を最大化する「司令塔」として三浦半島地域連携DMOを設立する。</p> <p>三浦半島地域連携DMOは、半島全域の観光プロモーションやマーケティングと戦略推進などによる交流人口の増加を進める。</p> <p>さらに三浦半島での充実したライフスタイル等の情報について拠点を整備して発信することにより、移住促進による人口減少の歯止めを図る。</p> <p>これらの取組みを支えるものとして、基盤づくりや地域資源の磨き上げ及び地域課題への対応を市町が行うことにより、民間主導による地域経済の循環を生み出す先導的なモデルづくりを進めるものである。</p> <p>(2) 平成29年度に地方創生拠点整備交付金を活用してみうら・みさき海の駅“うらり”交流拠点整備事業（三浦市単独事業）を行うもの。</p> <p>ア ウッドデッキの改修 イ うらりマルシェ「さかな館」の自動ドア化</p>

2 三浦市の構成事業平成30年度実績（小事業ごとの決算額、主な取組と工夫、主な成果）					
小事業名	決算額 (千円)	主な取組と工夫		主な成果	
第1分科会	1	回遊性向上のための環境整備事業	5,011	1 観光解説板整備事業 ・観光客の回遊性の向上と滞在時間の延長を図るため、平成29年度に実施した基礎調査による観光客のニーズ・回遊実態・観光に関するサインの利用状況等の結果に基づき、「ぐるっと三浦・まちなかサインータルプラン」を策定した。	ぐるっと三浦・まちなかサインータルプランの策定：1件
			1,000	2 ウインドサーフィンワールドカップ横須賀大会事業 ・横須賀市津久井浜海岸で開催されるウインドサーフィンワールドカップ横須賀大会の実行委員会に参画し、横須賀市津久井浜海岸や三浦海岸エリアをウインドサーフィンをはじめとするマリンスポーツのスポットとして世界中に発信し、さらなる来遊客の増加を図った。	大会開催：1回 来場者：49,482人
	2	海の駅“うらり”セールスプロモーション事業	27,284	・県内外にみうら・みさき海の駅“うらり”の知名度を向上させるため、海の駅フェスタをはじめ海を活かしたイベントやうらりマルシェを通じて三浦特産の農水産物をPRするイベントを開催してうらりの魅力を発信した。 ・平成29年度に地方創生拠点整備交付金を活用して改修工事を行った「うらり2階」のウッドデッキは、常設のバーベキューコーナーや隣接する交流広場と一体化したステージイベントの会場として活用された。	第4回海の駅フェスタの開催：1回 船上釣り教室の開催：1回 大晦日サンセットクルーズの開催：1回 元旦初日の出クルーズの開催：1回 みうら・みさき海の駅PRイベント：4回 うらりマルシェ農水産物対外PRイベント：8回
3	三崎漁港グローバルブランド戦略実践事業	4,485	・水産物の輸出に関する普及啓発のための地元事業者向けセミナー1回を開催したほか、三崎漁港の水産物を取り扱う事業者に対して海外展開の足がかりとなる国外の見本市への出展等の支援4件を実施した。 ・国内開催の国際見本市「ジャパンインターナショナルシーフードショー」に三崎漁港輸出促進協議会として出展し、冷凍マグロ専用の高度衛生管理された三浦市低温卸売市場のPRを行うとともに、取扱いの中心である三崎マグロや三崎漁港のハマチ、タイなどの蓄養殖魚やキンメダイ等の水産物や水産加工品のPRを行った。 ・三浦市内の水産関係の輸出動向は、協議会で把握している輸出に取り組む事業者からの聞き取りでは、平成27年度当時と比較して1.7倍程度の増加になっていると伺っている。	協議会による出展：1回 事業者の海外出展等への支援：4件	

	4	2,271	<p>・漁業収入向上のため魚価の向上やコスト削減など具体的な取組を検討し、「浜の活力再生プラン」の推進に資する磯焼け対策や藻場回復事業等の取組を支援した。</p>	磯焼け対策・藻場等回復事業等への支援：5件
第2分科会	5	12,058	<p>・トライアルステイを平成30年8月から平成31年1月にかけて実施し、29組が参加した。 ・平成30年度は、市内に自社物件を多く持つ不動産事業者と連携したことにより、条件の良いトライアルステイ物件を確保することができた。 ・前年度より物件と期間を増やしたため、参加者数が増加した。(H29：18組→H30：29組) ・これまでの参加者からの要望もあり、開催期間に夏の季節を含め、参加者に好評だった。 ・三浦市のエリアとしての魅力を高めるために、遊休化した公共施設の活用戦略推進業務を委託事業により行った。 ・ふるさと回帰支援センター（東京有楽町）において初めて三浦市単独で移住セミナーを開催した。その他、神奈川県主催の移住セミナーに3回参加し、三浦市内への移住をアピールした。 ①9月28日(金)26組 ②11月9日(金)18組 ③12月22日(土)13組※市単独開催 ④3月15日(金)27組 ・ハローワーク横須賀と連携し、平成31年2月に「みうらで働こう！面接・相談会」を開催し、移住希望者向けのバスツアーを行った（バスツアー参加者10組）。また、平成29年度から引き続きハローワーク横須賀と連携して移住者受入連携企業の登録を行い、移住希望者のうち三浦市内での就職を希望する方に案内した。 ・移住相談窓口、移住セミナー及びバスツアーにおける移住相談に対応した（計122件）。</p>	トライアルステイにより移住した世帯の数：2世帯 リノベーション案件の発掘：0件 移住相談窓口での相談件数：122件
	6	2,468	<p>講師を招いて勉強会を開催し市民210名の参加を得て、特に食生活の改善が及ぼす未病改善効果について勉強した。また、市職員が地域に出張して健康相談や教育事業を行うための健康測定機器等を購入して、年間15回地域に出向いた。 神奈川県が主催する未病サミットにも参加し、他の自治体や企業等との情報交換の機会を得た。</p>	出張型健康相談15回開催、未病を改善する勉強会1回開催（210名）ヘルシーメニュー配布
	三浦半島魅力最大化プロジェクト推進事業	54,577	うち、「地方創生推進交付金」27,288千円	

3 KPIの分析						
交付金KPI① <※第1分科会>			交付金KPI② <※第1分科会>			
KPI名称	三浦半島4市1町における入込観光客数	分析 <三浦半島4市1町> 平成30年の入込観光客数は、県において未公表のため、半島全体での入込観光客数は未確定である。 <三浦市> 三浦市のH30入込観光客数は約637万人である。 前年と比べ海水浴客を中心に増加傾向となり、市全体で約6万人の増加となった。 また、市が関与して魅力あるイベントを継続実施することにより、入込観光客数全体の約20%の集客を確保している。 なお、市の総合計画で定めた目標（637万1千人）には100人届かなかった。	KPI名称	各種イベント参加者数	分析 <三浦半島4市1町> 実績の内訳は次のとおりであり、目標（5.6万人）を達成した。 三浦市：65,463人(16事業) 横須賀市：50,151人(3事業) 逗子市：18,218人(4事業) 鎌倉市：4,005人(3事業) 葉山町：2,725人(2事業) 三観協：318人(4事業) <三浦市> 三浦市は、下記事業の参加者数が1万人を超えるなど、16事業で約6.5万人の参加者となり、目標達成に寄与した。 うらりマルシェ秋の感謝祭（16,000人） うらりマルシェ春の感謝祭（14,000人） 京急川崎ステーションバル2018出店（10,000人）	
目標(H30)	3,930 万人		目標(H30)	5.6 万人		
実績(半島)	未確定 万人		実績(半島)	14.1 万人		
実績(市)	637.09 万人		実績(市)	6.5 万人		
交付金KPI③ <※第2分科会>			交付金KPI④			
KPI名称	三浦半島4市1町における社会増減	分析 <三浦半島4市1町> 実績の内訳は次のとおりであり、目標（△380人）を達成しなかった。 三浦市：△223人 横須賀市：△1,352人 鎌倉市：879人 逗子市：△40人 葉山町：106人 <三浦市> 三浦市は平成27年△185人、平成28年△298人、平成29年△299人、平成30年△223人と推移している。 三浦市の社会増減を基準年である平成27年と比べると、転入は60人減（1,142人→1,082人）、転出は22人減（1,327人→1,305人）となっており、転入の減少が大きくなっている。	KPI名称		分析	
目標(H30)	△ 380 人		目標(H30)			
実績(半島)	△ 630 人		実績(半島)			
実績(市)	△ 223 人		実績(市)			

4 三浦市の構成事業の課題と今後の改善策・手法

小事業名		課題と今後の改善策・手法
第1分科会	1 回遊性向上のための環境整備事業	<p>入込観光客数及び観光客消費額の増加のため、継続して効果的な情報発信と滞在時間の延長に向けた取組を実施する。</p> <p>1 観光解説板整備事業 ・平成30年度に策定した「ぐるっと三浦・まちなかサイントータルプラン」に基づき、観光案内板等を整備し、観光客の回遊性の向上と滞在時間の延長を図る。</p> <p>2 ウィンドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会 ・三浦海岸の海水浴期間以外の利活用が課題であり、平成31年度は横須賀・三浦大会として開催され、三浦海岸地区においても「OTODAMA SEA STUDIO」の設置をはじめ、様々なイベントが行われた。また、この大会から海水浴が始まる6月下旬まで、「OTODAMA SEA STUDIO」が設置され、週末にライブが開催されるとともにスポーツイベントなども行われている。こうしたことをきっかけとして、今後も神奈川県とも連携しながら、三浦海岸の海浜利用を図っていく。</p>
	2 海の駅「うらり」セルブプロモーション事業	<p>・海の駅フェスタやうらり感謝祭などうらりで行うイベントによりみうら・みさき海の駅うらりの認知度が向上し、観光客数も増加してきたが、うらりから三崎地区へ観光客が回遊できるようなイベントを行い滞在時間の延長を図る。</p>
	3 三崎漁港グローバルブランディング戦略実践事業	<p>・三崎ブランドの強化、価格形成力の向上を図るため、三崎漁港輸出促進協議会による国内開催の国際見本市への出展や海外出展等に取り組む事業者への支援を実施するほか、海外展開の実績のない事業者に向けたセミナーの開催等の普及啓発に取り組む。</p> <p>・海外出展等に取り組む事業者への支援については、多くの企業が参加する見本市に出展するものや新たに輸出に取組むもの、新たな品目の輸出に取組むものを優先して支援する。</p>
	4 浜の活力推進事業(先行型活用事業関連)	<p>・令和元年度も磯焼け対策や藻場回復等の漁業者の取組について成果を検証し、さらなる漁業所得の向上を目指して県水産技術センターと連携して漁業者を支援する。</p>
第2分科会	5 トライアルステイ・ハベションまちづくり事業	<p>令和元年度 ・前年度に夏の季節を含めた開催時期としたことが好評だったため、令和元年度はさらに夏の時期を拡大して実施する。 ・トライアルステイ参加者など移住希望者が知りたい物件情報などを、事業者と連携して的確に案内できるように取り組む。 ・今後、地元事業者等が主体となって自立したトライアルステイ事業が行えることを目指し、事業のあり方について検討する。 ・課題である若年層への移住訴求、トライアルステイ参加を促すため、6月発行の移住雑誌に広告を掲載した。 ・移住等希望者へのニーズ対応やトライアルステイのフォローアップを行い移住・定住を増加させるため、「移住相談窓口」の運営や都内で開催される移住セミナーでの相談対応等に取り組む。</p> <p>令和2年度 ・移住、2地域居住、さらには関係人口の増加を目指し、幅広く三浦に関心を持っていただくための取組みを検討する。</p>
	6 (仮称)未病改善事業	<p>・神奈川県知事が提唱する「未病を改善する」施策について、平成29年度より三浦市でも市民の健康寿命を増進する取組として実施している。 ・病気の原因のうち、特に生活習慣に起因する疾病については、自覚症状がないまま進行していくことが多いため、生活習慣を変えなければという「気づき」の機会として、自己の健康状態を評価できるように健康測定機器を購入し、それを活用した相談機会の提供を継続していく。</p>

5 三浦市の評価

		(1) 内部評価	(2) 外部評価	
事業の評価	2 地方創生に効果があった	評価の理由	事業の評価	主な意見
		今後の方針		
		<p>KPI①は、半島での数値は未確定。三浦市の総合計画で定めた目標は未達成であるが、前年度より向上している。</p> <p>KPI②は、半島の目標達成に大きく寄与している。</p> <p>KPI③は、三浦市にとって課題である。前年より改善はしているが、さらなる改善が必要。なお、三浦半島4市1町としてはKPI②の1つ目標値を達成し、概ね成果が得られた。</p>	<p>2 地方創生に効果があった</p>	<p>・三浦市はイベントを16事業もやっておりKPIへの貢献度は素晴らしい。今後も継続してイベントを行ってほしい。</p> <p>・ウィンドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会を、行政として国際大会をやるという認識をもう少し高めたほうが良い。</p> <p>・グローバルブランディング事業について、市内業者の海外展開を継続支援すると良い。</p> <p>・トライアルステイについて、就業体験を取り入れることなどを検討されたい。</p>
		<p>事業の継続(計画通りの継続)</p> <p>※なお、課題への取組、改善は引き続き行っていく。</p>		